

平成19年度事業報告及び決算について

I 法人の概要

1. 法人名及び本部所在地

学校法人 享栄学園
理事長 堀 敬史
法人設立認可日 昭和26年3月10日(指令庶第86号)
所在地 愛知県名古屋市中区千代田3丁目11番16号

2. 設置学校一覧

設置学校名	所属長名	郵便番号	学校所在地
鈴鹿国際大学	武村 泰男	510-0298	三重県鈴鹿市郡山町 663-222
鈴鹿短期大学	佐治 晴夫	513-8520	三重県鈴鹿市庄野町 1250
享栄高等学校	堀 敬史	467-0003	愛知県名古屋市長久手町岩作字三ヶ峯 1-26
鈴鹿高等学校	伊藤 弘	513-0831	三重県鈴鹿市庄野町 1260
栄徳高等学校	近藤 新二	480-1103	愛知県愛知郡長久手町岩作字三ヶ峯 1-32
鈴鹿中学校	伊藤 弘	513-0831	三重県鈴鹿市庄野町 1230
享栄幼稚園	杉山 栄子	467-0017	愛知県名古屋市長久手町東栄町 2-4
専門学校享栄ビジネスカレッジ	澤田 富雄	460-0012	愛知県名古屋市中区千代田 3-11-16

3. 役員 の 概 要

理事(人)			監事(人)			評議員(人)		
定数	実数	任期	定数	実数	任期	定数	実数	任期
6～10	8	5	2	2	5	13～21	17	3

理事・監事の別	職名または担当職務	氏 名
理 事	理事長・学園長	堀 敬史
理 事		武村 泰男
理 事		佐治 晴夫
理 事		堀 敬紀
理 事		近藤 新二
理 事		近藤 信行
理 事	常務理事	藤田 敏夫
理 事		古川 敏治
監 事		木宮 和彦
監 事		成田 稔男

4. 学 生 ・ 生 徒 ・ 園 児 数 及 び 教 職 員 数 (平 成 19 年 5 月 1 日 現 在)

学校(園)名	学生・生徒・園児数	教員数	職員数
鈴鹿国際大学	689	35	29
鈴鹿短期大学	280	24	14
享栄高等学校	1,412	70	14
鈴鹿高等学校	1,387	81	6
栄徳高等学校	1,117	59	5
鈴鹿中学校	387	21	3
享栄幼稚園	241	11	1
専門学校享栄ビジネスカレッジ	0	0	0
本 部	0	0	5
合 計	5,513	301	77

II 事業の概要

享栄学園は創立者堀栄二氏の「誠実で信頼される人に」の建学の精神を基に、実社会に役立つ教育の実践を行っている。

(1) 鈴鹿国際大学

3年生対象「SOP(海外短期留学支援制度)が昨年に続き実施された。平成20年度より、国際学部から国際人間学部へ学部名称の変更をするため、文部科学省に届出をし、受理された。さらに、平成21年度には国際学科の再編、平成22年度を目途に新学科設置の検討に入った。

(2) 鈴鹿短期大学

平成19年度から、学生のきめ細かなフォローが行えるよう「保護者懇談会」を企画し、多数の保護者の参加を得た。また、「地域貢献宣言」を行い、専

攻ごとに地域へ向けての多彩なイベントを展開。学長自らも「佐治博士のクリスマス・レクチャー・コンサート」-夢みる宇宙と音楽と-など盛りたくさんな活動を展開した。

(3) 享栄高等学校

土曜セミナーを開始して5年目となり、講座の充実と地域連携を深めた。また、タウンサークルも12回目を実施し、地域交流活動の発展に努めた。

部活動では漫画研究同好会が「第16回全国高等学校漫画選手権大会(漫画甲子園)」に2年連続出場した。

(4) 鈴鹿高等学校

10年近く経過した、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類の体制を変更し、Ⅰ・Ⅱ類を統合。Ⅲ類定員を100名から120名に、併せて、6年制の4年編成の募集定員を10名から30名に変更し、編入クラスを設置。県高校総体総合で男子3位、女子4位と過去最高に、また、硬式テニス部では男子個人戦で全国6位の成績をおさめた。

(5) 栄徳高等学校

夏休み期間を利用し、夏の学校見学会を開催した。本年度は授業体験講座(7コーナー)を開設し、約400名の中学生・保護者が参加し、大変好評であった。

本年度1月より教職員にPHS携帯電話を身につけるようにした。学校安全・緊急時等対応・日常の業務遂行に使用したい。

(6) 鈴鹿中学校

3年生において、第1回全国学力調査を実施。学校行事では全校で秋の芸術鑑賞として、劇団四季の「アイダ」観劇を実施。部活では科学部において第4回「創造アイデアロボットコンテスト三重県大会B部門優勝」、女子テニス部が「三重県中学校新人テニス大会 女子団体の部準優勝」などの成績を残した。

(7) 享栄幼稚園

家族が参加しての体操(ファミリーデー)、七夕、林間お泊り保育(阿智村)、運動会、芋焼き、作品展、音楽会、雪遊び、生活発表会、そしてお別れ会等を実施した。

(8) 学園本部

財務改革委員会を発足した。(平成19年8月20日より)

鈴鹿国際大学の学則と寄附行為の変更を行った。

(学部の名称変更、国際人間科学部:平成20年4月1日より)

鈴鹿高等学校の学則の一部変更を行った。

(教育課程A, Bの一部変更:平成20年4月1日より)

学園事務研修会を行った。(7月28日)

学園新任教員研修会を行った。(8月1日)

学園夏期研修会を行った。(8月24日)

Ⅲ 財務の概要

1. 平成19年度決算について

(1) 収入の状況

帰属収入は 5,345,138 千円となり、その内訳は学生生徒納付金が 51.3%と最も多く、次に補助金が 37.9%と続く。帰属収入は前年度比 24,212 千円増となり、ほぼ同額であった。

(2) 支出の状況

消費支出は 6,086,975 千円となり、その内訳は帰属収入に占める割合は人件費が 73.9%、教育研究費が 26.7%、管理経費が 6.3%となった。消費支出は前年度比 106.8% (389,002 千円増)となった。

(3) 消費収支計算書にみる決算説明

消費収入は学生生徒数が 101.2%と若干増加し、補助金も 104.8% (93,181 千円)増加したが、退職金財団交付金が前年度に比べ減少したため、帰属収入は前年度とほぼ同額であった。

消費支出は人件費が前年度比 102.5% (94,548 千円増)となり、資産処分差額のうち有価証券評価差額を 302,278 千円計上したため、前年度比 106.8%となり、消費収支差額は 1,135,994 千円の支出超過となった。引き続き厳しい財政状況であるが、今後、短大の改革や大学の定員数の見直し等により改善できるよう努めたい。

2. 資金収支計算書(別表)

3. 消費収支計算書(別表)

4. 貸借対照表(別表)